

改正省エネ法 定期報告書、計画書等の収集・分析についての調査票（輸送事業者用）

【はじめに】

1) 本調査のねらい

本調査のねらいは以下のとおりです。

- ① 定期報告書の収集により、CGLメンバーにおけるエネルギー使用量や判断基準の遵守状況等の概況を集計、分析する。
- ② 計画書の収集により、CGLメンバーにおける省エネ計画の分析を行う。
- ③ 改正省エネ法に関する課題を収集し、行政に対する提言内容の検討材料とする。

* 特定輸送事業者に該当しない輸送事業者の方につきましても、③及び①、②で回答可能な事項について、ご回答いただければ幸いです。

2) 回答方法

- ・回答は次ページ以降の回答票にご記載ください。なお、回答票は、三部構成（Ⅰ部、Ⅱ部、Ⅲ部）となっております。

（Ⅰ部（P2～4））

- ・本年6月末に提出された、定期報告書、計画書に基づきご記載ください。なお、回答票への記載の代わりに、定期報告書、計画書の以下の部分の写しをお送りいただいてもかまいません。
（その場合、送付用封筒をお送りいたしますので、ご連絡ください。）

＜定期報告書、計画書の写しを送付する場合に、必要となる箇所＞	
定期報告書	第1表、第2表、第3表、第4表、第7表、第8表
計画書	Ⅱ表、Ⅳ表

（Ⅱ部（P5））

- ・改正省エネ法に関し、貴社で抱えている課題についてご記載ください。

（Ⅲ部（P6））

- ・荷主用設問と合わせて集計することを目的とした設問です。可能な範囲でご記載下さい。設問に出てくる、経済産業省 告示第66号 別表第2については、別紙をご参照下さい。

3) 回答票締切日

2007年10月4日（木）

4) その他

- ・回答企業の承諾がない場合において、**回答企業名は一切公表いたしません。**
- ・回答票の行等は適宜追加していただいてもかまいません。
- ・回答結果は、CO₂削減推進委員会の活動の一環として活用しますが、必要に応じてグリーンサプライチェーン推進委員会、グリーン物流研究会でも活用いたしますのでご承知おき下さい。

【回答票】

I 改正省エネ法 定期報告書、計画書に関する事項

1. エネルギーの使用量（定期報告書 第1表関係）

(GJ)
(原油換算kl)

2. 輸送用機械器具の概要（定期報告書 第2表関係）

1) 自動車関係

器具の名称	器具の概要	使用状況	導入、改造又は廃棄の状況

2) 自動車に係る省エネ機器

器具の名称	器具の概要	使用状況	導入、改造又は廃棄の状況

3) その他

器具の名称	器具の概要	使用状況	導入、改造又は廃棄の状況

3. 輸送トンキロ（定期報告書 第3表関係）

(t・km)

4. エネルギーの使用に係る原単位（定期報告書 第4表関係）

(kl/t・km)

5. 判断基準の遵守状況（定期報告書 第7表関係）

対象項目				
取り組み方針の作成とその効果等の把握	<u>省エネ指針の策定及び見直し</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	<u>省エネ目標の設定・効果測定及び対策の見直し</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	<u>省エネ推進体制・責任者の設置</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	<u>省エネに関する従業員教育実施</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず
省エネ輸送用機械器具の使用	<u>省エネ輸送用機械器具の導入</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	<u>省エネに資する器具の導入</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず		
省エネ運転・操縦	<u>省エネ運転・操縦</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	<u>効率的な輸送ルートを選択</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	<u>冷凍機効率の向上</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	
輸送能力の高い輸送用機械器具の使用	<u>輸送用機械器具の大型化</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず			
輸送能力の効率的な活用	<u>積載率の向上</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	<u>貨物量に応じた輸送能力の適正化</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	<u>空荷走行・航行距離等の縮減</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	
その他	<u>荷主等の関係者との連携強化</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	<u>効率的な輸送方法の選択の促進</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	<u>物流拠点の整備</u> <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	

6. その他エネルギー使用の合理化に関し実施した措置（定期報告書 第8表関係）

--

7. 省エネ計画内容（計画書 II表関係）

対 策	計 画 内 容	エネルギー使用 合理化期待効果

8. その他計画に関連する項目（計画書 IV表関係）

--

Ⅱ 改正省エネ法に関する課題

1. 輸送事業者としての省エネ活動について

1) 自社の省エネ活動に関する事項

--

2) 定期報告書、計画書作成に関する事項

--

3) (特定輸送事業者に該当しない) 子会社、関係会社、協力会社の省エネ活動に関する事項

--

2. 荷主とのやりとりに関する事項について

1) 荷主からのデータ提供要請について

--

2) 荷主の省エネ活動、定期報告書、計画書策定に関して

--

3. その他 上記以外の事項についての課題等

--

Ⅲ その他（荷主向け調査 設問Ⅱと合算した結果を集計するための設問です）

ここでは貴社トラックの4トン車、10トン車（軽油使用）についてそれぞれお聞きします。

1. 荷主がエネルギー使用量の算定を行う際に燃費法を使用している場合、その燃費値として、経済産業省 告示第 66 号 別表第 2 の値（4 トン車 3.79km/l、10 トン車 2.89km/l）を用いることもできるとされていますが、この別表第 2 の値と貴社の実燃費と比較すると、概ねどちらが良いですか。

- ア 別表第 2 の値の方が良い（値が大きい）。
- イ 実燃費の方が良い（値が大きい）。
- ウ 別表第 2 の値と一致している。
- エ 不明

4 トン車	10 トン車
-------	--------

貴社名（)

ご回答者氏名（)

ご協力ありがとうございました。

改正省エネ法 定期報告書、計画書等の収集・分析についての調査票（荷主、物流子会社用）
【はじめに】

1) 本調査のねらい

本調査のねらいは以下のとおりです。

- ① 定期報告書の収集により、CGLメンバーにおけるエネルギー使用量や判断基準の遵守状況等の概況を集計、分析する。
- ② 計画書の収集により、CGLメンバーにおける省エネ計画の分析を行う。
- ③ 改正省エネ法に関する課題を収集し、行政に対する提言内容の検討材料とする。

* 特定荷主に該当しない企業の方につきましても、③及び①、②で回答可能な事項について、ご回答いただければ幸いです。

2) 回答方法

- ・回答は次ページ以降の回答票にご記載ください。なお、回答票は、三部構成（Ⅰ部、Ⅱ部、Ⅲ部）となっております。

（Ⅰ部（P2～4））

- ・本年9月末に提出された、定期報告書、計画書に基づきご記載ください。なお、回答票への記載の代わりに、定期報告書、計画書の以下の部分の写しをお送りいただいてもかまいません。（その場合、送付用封筒をお送りいたしますので、ご連絡ください。）

<定期報告書、計画書の写しを送付する場合に、必要となる箇所>

定期報告書 第1表、補足、付表1、付表2、付表3、第2表、第3表、第7表、第8表
計画書 Ⅱ表、Ⅳ表

- * なお、第2表で輸送トンキロ以外の指標を採択している場合は、回答票P2の下段の輸送トンキロのみ記載下さい

（Ⅱ部（P5～6））

- ・定期報告書、計画書には直接記載しないが、記載のために用いた原データについて、把握可能な範囲でご記載ください。
- ・設問の中に出てくる、経済産業省 告示第66号 別表第2及び第3については、別紙をご参照ください。

（Ⅲ部（P7））

- ・改正省エネ法に関し、貴社で抱えている課題についてご記載ください。

3) 回答票締切日

2007年10月12日（金）

4) その他

- ・回答企業の承諾がない場合において、**回答企業名は一切公表いたしません。**
- ・回答票の行等は適宜追加していただいてもかまいません。
- ・回答結果は、CO2削減推進委員会の活動の一環として活用しますが、必要に応じてグリーンサプライチェーン推進委員会、グリーン物流研究会でも活用いたしますのでご承知おき下さい。

【回答票】

I 改正省エネ法 定期報告書、計画書等に関する事項

1. エネルギーの使用量（定期報告書 第1表関係）

(GJ)
(原油換算kl)

(内訳)

算定法	エネルギー使用量 (GJ)
燃料法	
燃費法	
トンキロ法	

(算定方法に関する補足) 補足

--

2. エネルギー使用量と密接な関係を持つ値（定期報告書 第2表関係）

エネルギーと密接な関係を持つ値として選定した指標	
上記の値	()

* カッコ内には単位を記載

(参考) 輸送トンキロ

(上記、設問2で輸送トンキロを選定している場合は記載不要です。)

(t・km)

3. エネルギーの使用に係る原単位（定期報告書 第3表関係）

(kl/)

4. 判断基準の遵守状況（定期報告書 第7表関係）

対象項目					
取組方針の作成とその効果等の把握	取組方針の策定 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	エネルギー使用実態等のより正確な把握 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	エネルギー使用実態等の把握方法の定期的確認 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	責任者の設置 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	
	社内研修体制の整備 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず				
輸送方法の選択	鉄道及び船舶の活用 の推進 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	高度な貨物の輸送に係るサービスの活用 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず			
輸送効率向上のための措置	積み合わせ輸送・混載便の利用 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	適正車種の選択 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	輸送ルート・輸送手段の工夫 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	車両等の大型化 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	
	輸送効率の良い事業用貨物自動車の活用 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	道路混雑時の貨物の輸送の見直し <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず			
貨物輸送事業者及び着荷主との連携	貨物の輸送頻度等の見直し <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	計画的な貨物の輸送の実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず			

5. その他エネルギー使用の合理化に関し実施した措置（定期報告書 第8表関係）

--

6. 省エネ計画内容（計画書 II表関係）

対 策	計 画 内 容	エネルギー使用 合理化期待効果

7. その他計画に関連する項目（計画書 IV表関係）

--

II 定期報告書、計画書作成にあたっての原データについて

ここでは、委託輸送に係る部分に関して、4トン車、10トン車（軽油使用）についてそれぞれお聞きします。

1-1. 燃費法を採択している場合、算定に用いている燃費値として、どのような値を使用していますか。4トン車、10トン車それぞれについて、最も当てはまるものを下記より1つずつお選びください。

ア 経済産業省 告示第66号 別表第2（以下「別表第2」と言う）の値のみ使用

イ 「別表第2以外*1」の値のみ使用

ウ 別表第2の値及び「別表第2以外」の値両方を使用

エ 不明

*1 「別表第2以外」の値とは、輸送事業者から提供を受けた燃費値を意味する。

4トン車	10トン車
------	-------

1-2. 設問1-1で、イ、ウと回答された方にお聞きします。別表第2以外の値をもとにエネルギー使用量を計算するにあたっての方法として、最も近いものを下記より1つずつお選びください。

ア 委託輸送会社から提供される車両1台ごとの燃費値を用いて、1車両ごとに計算していく。

イ 委託輸送会社から提供される、当該委託会社の平均燃費値を用いて、委託輸送会社ごとに計算していく。

ウ ア、もしくはイ等を用いて、自社平均燃費値を算出し、自社全体として計算していく。

エ その他（下記具体的に記載ください）

（ ）

4トン車	10トン車
------	-------

1-3. 設問1-1で、イ、ウと回答された方にお聞きします。別表第2の値と、車両ごと、もしくは委託輸送会社ごとの燃費値と比較すると、概ねどちらの方が良いですか。

ア 別表第2の値（4トン：3.79km/l、10トン車：2.89km/l）の方が良い（値が大きい）。

イ 車両ごと、もしくは委託輸送会社ごとの燃費値の方が良い（値が大きい）。

ウ 別表第2の値と一致している。

エ 不明

4トン車	10トン車
------	-------

1-4. 燃費法での算定にあたっての課題等ございましたら、ご記載ください。

2-1. **トンキロ法を採択している場合**、算定に用いている積載率をどのように収集していますか。4トン車、10トン車それぞれについて、最も当てはまるものを下記より1つずつお選びください。

ア 経済産業省 告示第66号 別表第3（以下、「別表第3」と言う）で積載率が不明な場合の値のみ使用

イ 「別表第3以外*2」の値のみ使用

ウ 別表第3及び「別表第3以外」の値両方を使用

エ 不明

*2 平均積載率には、輸送事業者から提供を受けた値や自社の配送計画から策定した値を含む

4トン車	10トン車
------	-------

2-2. **設問2-1で、イ、ウと回答された方にお聞きします。**別表第3の値と、別表第3以外の値を比較すると、**概ねどちらの方が良いですか。**

ア 別表第3の値（4トン、10トン車：62%）の方がよい（値が大きい）。

イ 別表第3以外の値の方がよい（値が大きい）。

ウ 別表第3の値と一致している。

エ 不明

()

4トン車	10トン車
------	-------

2-3. **定期報告書 付表3にある、平均積載率の値をそれぞれご記載ください。**

	平均積載率
4トン車	
10トン車	

2-4. **トンキロ法での算定にあたっての課題等がございましたら、ご記載ください。**

--

Ⅲ 改正省エネ法に関する課題

1. 荷主としての省エネ活動について

1) 自社の省エネ活動に関する事項

2) 定期報告書、計画書作成に関する事項

3) 物流子会社、関係会社、協力会社の省エネ活動に関する事項

2. 輸送事業者とのやりとりに関する事項について

1) 輸送事業者へのデータ提供要請について

3. その他 上記以外の事項についての課題等

貴社名 ()

ご回答者氏名 ()

ご協力ありがとうございました。

改正省エネ法 定期報告書、計画書等の収集・分析についての調査票（その他）

【はじめに】

1) 本調査のねらい

本調査は、改正省エネ法に関する課題を収集し、行政に対する提言内容の検討材料とするために実施いたします。

2) 回答方法

- ・回答は次ページの回答票にご記載ください。
- ・回答欄が5つほどございますが、貴社（回答者）が課題だと考える部分のみの回答で結構です。

3) 回答票締切日

2007年10月12日（金）

4) その他

- ・回答企業の承諾がない場合において、**回答企業名は一切公表いたしません。**
- ・回答票の行等は適宜追加していただいてもかまいません。
- ・回答結果は、CO₂削減推進委員会の活動の一環として活用しますが、必要に応じてグリーンサプライチェーン推進委員会、グリーン物流研究会でも活用いたしますのでご承知おき下さい。

【回答票】

Ⅱ 改正省エネ法に関する課題

1. 荷主の省エネ活動について

2. 輸送事業者の省エネ活動について

3. 荷主と輸送事業者とのデータのやりとりに関する事項について

4. 荷主と輸送事業者とのパートナーシップによる省エネ活動について

5. その他 上記以外の事項についての課題等

貴社名 ()

ご回答者氏名 ()

ご協力ありがとうございました。

第2期ロジスティクス環境会議 グリーン物流研究会 活動内容

会 合	開催日	内 容	参加 人数
第1回	2006年 9月25日 (月)	・グリーン物流研究会の運営方法(案)等説明 テーマ：ロジスティクスと環境 講演1「ロジスティクスと環境問題」 岩尾 詠一郎 氏(専修大学 商学部 講師) 講演2「日本通運の環境保全への取組」 麦田 耕治 氏(日本通運㈱ 環境部 専任部長)	69名
第2回	2006年 10月26日 (木)	テーマ：改正省エネルギー法（荷主対応） 講演「荷主と物流事業者の協調にむけて」 村山 智 氏(経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー対策課 課長補佐) パネルディスカッション「改正省エネ法 荷主に係る措置への対応とその課題」 【コーディネータ】 河野 義信 氏(グリーン物流研究会 副幹事 (新日本製鐵㈱ 営業総括部 マネジャー(物流技術)) 【パネリスト】 ・村山 智 氏(経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー対策課 課長補佐) ・桜井 保 氏(明治乳業㈱ 物流部 係長) ・石崎 雅規 氏(東芝物流㈱ 物流技術部 品質・環境管理部 参事) ・大山 茂夫 氏(第一貨物㈱ 営業本部 業務第二部 部長)	66名
第3回	2006年 11月30日 (木)	テーマ：鉄道へのモーダルシフト 講演1「モーダルシフト推進に向けた国土交通省の取組」 岡部 哲久 氏(国土交通省 政策統括官付 政策調整官(物流担当)付) 講演2「モーダルシフト推進に向けたJR貨物の取組」 姫野 健士 氏(日本貨物鉄道㈱ ロジスティクス本部 営業部 副部長) パネルディスカッション「鉄道へのモーダルシフトへの取組とその課題」 【コーディネータ】 下村 博史 氏(グリーン物流研究会 幹事 (㈱日本総合研究所 研究事業本部 上席主任研究員)) 【パネリスト】 ・岡部 哲久 氏(国土交通省 政策統括官付 政策調整官(物流担当)付) ・姫野 健士 氏(日本貨物鉄道㈱ ロジスティクス本部 営業部 副部長) ・小林 康史 氏(ハウス食品㈱ SCM部 物流企画課 専門課長) ・齋藤 直也 氏(日本通運㈱ 通運部 通運専任部長)	57名
第4回	2007年 1月25日 (木)	テーマ：共同物流 講演1「エコロジーとエコノミーの両立する共同物流を推進するプラネット物流」 児玉 博之 氏(プラネット物流㈱ 代表取締役社長) 講演2「大和物流㈱における調達物流共同配送の取組」	51名

会 合	開催日	内 容	参加 人数
		前田 道男 氏(大和物流(株) 業務統括部 係長) 講演3「循環リ・ユースハンガー運用における共同物流・共同配送の取組事例」 柳橋 裕正 氏(日本コパック(株) 経営改革室 企画物流 スーパーバイザー)	
第5回	2007年 3月5日(月)	見学会 (株)ブリヂストン 東京工場見学	32名
第6回	2007年 5月30日 (水)	テーマ：イノベーションとグリーン物流 講演1「トラックを取りまく環境規制と対応について」 綾部 政徳 氏(いすゞ自動車(株) ソフトビジネス推進部 営業推進G グループリーダー) 講演2「グリーンロジスティクスシステムを活用したCO2削減の取組」 丹羽 和彦 氏(富士通(株) 物流本部 物流プロセス改革室 プロジェクト課長) 講演3「UHF帯RFIDタグ・リーダーを利用した 空レンタルパレット回収のトラック配車効率化」 花輪 太郎 氏(日本パレットレンタル(株) 営業本部 戦略営業室 室長)	63名
第7回	2007年 6月28日 (木)	テーマ：包装資材削減 講演1「アサヒビールの環境負荷低減の取り組み」 千田 悠 氏(アサヒビール(株) 物流システム部 主任) 講演2「廃棄パレットの削減活動と自動車エンジン部品のリターナブル化推進事例」 増田 章 氏(株)コイケ 執行役員 業務部 部長) 講演3「配送後の廃棄物削減に向けた簡易包装化(省梱包化)と、運送品質の同時改善」 三村 光明 氏(株)ノーリツ 物流システム部 企画管理グループリーダー)	51名
第8回	2007年 7月26日 (木)	テーマ：グリーン物流パートナーシップ 推進事業 講演1「環境負荷低減システムと今後の方向性」 山田 英夫 氏(国分(株) 物流統括部 課長) 講演2「印刷用資材の共同物流におけるCO2削減効果」 小野 達朗 氏(FFGSビジネスサポート(株) 代表取締役社長) 講演3「日鐵物流におけるグリーン物流推進の取り組み ー小口・重量貨物の共同輸送「ラック便」を中心としてー」 水野 由実 氏(日鐵物流(株) 営業本部 営業企画部長)	49名
第9回	2007年 10月16日 (火)	見学会 日本通運(株) RORO船見学	42名
第10回	2007年 10月25日 (木)	テーマ：現場改善とグリーン物流 講演1「韓国向けメタロフィルターの輸出諸経費の削減 ー梱包の無駄をなくし、環境に優しい輸送を実現ー」 窪田 実 氏(三井金属鉱業(株) セラミックス事業部 技術課 設備技術主任) 講演2「物流コスト大幅削減の事例ー物流IT利用による物流改善事例紹介ー」 大塚 篤 氏(セキセイ(株) SCM物流本部 東京物流センター長) 講演3「高末における現場改善の取組み ー計画配車の導入による配送及び配車業務の効率化を中心ー」 山下 定則 氏(高末(株) 研究開発 所長職)	48名

会 合	開催日	内 容	参加 人数
第11回	2007年 11月29日 (木)	<p>テーマ：改正自動車NOxPM法と改正省エネルギー法</p> <p>第1部 改正自動車NOxPM法 講 演「改正自動車NOxPM法の概要」 唐島 聡子 氏(環境省 水・大気環境局 自動車環境対策課 課長補佐)</p> <p>第2部 改正省エネ法 報 告「改正省エネ法定期報告書・計画書 収集分析結果報告」 ロジスティクス環境会議 事務局</p> <p>パネルディスカッション「改正省エネ法への対応とその課題」</p> <p>【コーディネータ】 河野 義信 氏(グリーン物流研究会 副幹事 (新日本製鐵株) 営業総括部 マネジャー(物流技術))</p> <p>【パネリスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新保 一彦 氏(経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー対策課 課長補佐) ・金城 佐和子 氏(松下電器産業株) グローバルロジスティクス推進室 主事) ・上田 詔俊 氏 (鴻池運輸株) CSR推進室 課長) 	
第12回	2007年 12月7日 (金)	<p>見学会</p> <p>セイコーエプソン(株) リサイクル施設見学会</p>	
第13回	2008年 1月24日 (木)	<p>テーマ案1：委員会からの報告</p> <p>テーマ案2：(外部講師)</p> <p>研究会のまとめ</p>	

*役職等は開催時点のものである。

以 上

「ロジスティクス環境宣言」

ロジスティクス環境会議およびそのメンバーは、循環型社会を実現するため、物流分野の環境負荷低減を経営の重要課題として認識し、以下の活動に積極的に取り組むことを宣言する。

1. 自らの環境負荷を低減する

自らの活動によって発生する環境負荷低減の目標を定め、目標達成に向けたマネジメントサイクルを推進する。

2. 環境負荷低減に取り組む企業を増やす

関係企業とパートナーシップを築き、共に環境負荷低減に向けた取り組みを推進する。

3. 情報を発信し、循環型社会の形成に寄与する

活動を通して明らかになった課題については、企業・行政・団体等の関係者へ情報発信を行い、循環型社会の形成に寄与する。

2006年3月15日

社団法人日本ロジスティクスシステム協会

ロジスティクス環境会議

環境負荷低減活動推進の手引き（仮称）の作成について
（第5回企画運営委員会（2007年6月1日）承認事項）

1. はじめに

ロジスティクス環境会議では、第1、2期において様々なアウトプットを作成し、環境会議ホームページ等で公表することにより、ロジスティクス分野における環境負荷低減活動に寄与してきた。

しかしながら、「ロジスティクス環境宣言」（2006年3月15日採択：参考資料3参照）の第2項「環境負荷低減に取り組む企業を増やす」を推進していく上で、環境会議やJILSに参画していない、比較的規模の小さい企業等へのさらなる働きかけが必要になると考えられる。このため、それらの企業等を対象として、環境負荷低減活動への理解を深めていただくための「手引き」の作成を以下のとおり提案したい。

2. 環境負荷低減活動推進の手引き（仮称）の概要

1) 目的

以下の2点を目的として、当該手引きの作成を行う。

- ① 企業*において、環境問題への理解を深めていただき、環境負荷低減活動への取り組みのきっかけとなるような情報提供

*環境会議メンバーやJILSに参画していない、比較的規模の小さい企業を念頭におく。

- ② 環境会議で作成した（2008年3月作成分含む）各種アウトプットへの導入ガイドの位置づけとして

2) 編集方針

上記目的を達成するために、多くの情報を掲載することよりも、イラスト等を用いて「分かりやすく」整理された手引きを作成する。

3) 構成

A4版 16ページ程度を想定

4) 検討体制

企画運営委員会にて審議いただくこととする。（ただし、素案作成にあたっては、一部委員に協力いただきながら、事務局を中心に作成を行う。）

5) スケジュール（予定）

2007年下期 第6回企画運営委員会にて素案提示、検討

2008年1月 第7回企画運営委員会にて最終案提示、検討

2008年3月 第3回本会議にて環境会議メンバーへ配布

* 企画運営委員会の回数は現時点での予定であり、増える可能性は有

6) 配布先等

- ・環境会議メンバー、JILS会員への配布
- ・環境会議ホームページの掲載（ダウンロード可）
- ・その他
 - グリーン物流パートナーシップ会議での配布や地方局での催事での配布（行政との要調整）

以上

第2期ロジスティクス環境会議 活動アンケート調査票

【はじめに】

■ はじめに

ロジスティクス環境会議では、第2期（2006年8月～2008年3月）活動に関する現時点での皆様の評価及びご意見等をいただき、今後の活動に反映したく、アンケートを実施いたします。つきましては、ご多忙のところお手数をおかけしますが、ご回答に御協力いただけますよう、何卒よろしくお願いいたします。

■ 回答方法

次ページ以降の回答票にご記載ください。

■ 回答票締切日

2007年11月2日（金）

■ 回答票送付先

下記宛にメールでお送りいただきたく存じます。

ロジスティクス環境推進センター 小川 ogawa@logistics.or.jp

■ 問い合わせ先

ロジスティクス環境推進センター 栗原、北條 TEL：03-5484-4021

【回答票】

I. 第2期ロジスティクス環境会議の活動に関する評価

第2期ロジスティクス環境会議では、参加いただいているメンバーの皆様に対し、下記事項を提供することをねらいとして、研究会（グリーン物流研究会）、委員会（CO2削減推進委員会、グリーンサプライチェーン推進委員会）等の活動を実施しております。

（第2期ロジスティクス環境会議のねらい）

- ・ 貴社や貴グループ、取引先等の環境負荷低減につながる各種事例等のヒントや行政動向等の情報提供
- ・ ロジスティクス分野における環境負荷低減に向けて課題となる事項の解決方策の検討や有用となるマニュアル、チェックリスト等のツールの開発
- ・ 人的ネットワークの形成

設問1) 研究会や委員会への参加等により、貴社や貴グループ会社、取引先等の環境負荷低減につながる各種事例等のヒントや参考情報の収集はできておりますか。主にあてはまるものを1つお選び下さい。

- 1 参加する毎回の会合で有用な情報が収集できている。
- 2 参加する会合のうち、4～6回程度で、有用な情報が収集できている。
- 3 会合に参加しているが、有用な情報が収集できているのは数回（1～3回程度）しかない。
- 4 会合に参加しているが、有用な情報は全く得られていない。
- 5 分からない
- 6 その他（具体的に： _____)

設問1) 回答欄

設問1) に関するコメントがございましたら、下記にご記入下さい

設問2) は、CO2削減推進委員会又はグリーンサプライチェーン推進委員会にご登録いただいている方のみお答えください。ご登録いただけない方は設問3) へお進みください。

設問2) ご登録いただいている委員会について、課題の解決方策の検討や有用となるマニュアル、チェックリスト等のツールの開発作業等について、お聞きします。

① 委員会での検討内容はご自身、もしくは自社の課題と合致していますか。主にあてはまるものを1つお選びいただき、ご登録いただいている委員会欄にご記載ください。

- 1 合致している。
- 2 どちらかと言えば合致している。
- 3 あまり合致していない。
- 4 全く合致していない。
- 5 分からない。

設問2) ①回答欄	
CO2削減推進委員会	
グリーンサプライチェーン推進委員会	

設問2) ①に関するコメントがございましたら、下記にご記入下さい。

--

② 委員会での検討は、ご自身にとって有用ですか。主にあてはまるものを1つお選びいただき、ご登録いただいている委員会欄にご記載ください。

- 1 有用である。
- 2 どちらかと言えば有用である。
- 3 あまり有用ではない。
- 4 全く有用ではない。
- 5 分からない。

設問2) ②回答欄	
CO2削減推進委員会	
グリーンサプライチェーン推進委員会	

設問2) ②に関するコメントがございましたら、下記にご記入下さい。

--

設問3) 第2期ロジスティクス環境会議の活動を通じ、人的ネットワークの形成ができましたか。主にあてはまるものを1つお選び下さい。

- 1 人的ネットワークが形成でき、実務でも活用している。
- 2 研究会、委員会への出席時に会話をする程度で、人的ネットワークの形成には至っていない。
- 3 研究会、委員会での会話も含めて、全くない。
- 4 分からない。
- 5 その他(具体的に: _____)

設問3) 回答欄

設問3) に関するコメントがございましたら、下記にご記入下さい。

--

設問4) 第2期ロジスティクス環境会議では、異業種や異なる立場（発荷主、着荷主、物流事業者等）の関係者による検討を進めていますが、それについて、主にあてはまるものを1つお選び下さい。

- 1 同業種だけのメンバーとは異なった視点での検討や情報交流、人的交流が出来ることから、有益である。
- 2 自社に直接的に関係する内容が少なく、有益ではない。
- 3 分からない。
- 4 その他（具体的に： _____)

設問4) 回答欄

--

設問4) に関するコメントがございましたら、下記にご記入下さい。

--

設問5) 上記を踏まえ、第2期ロジスティクス環境会議の活動全般について満足されていますか。主にあてはまるものを1つお選び下さい。

- 1 大変満足している。
- 2 満足している。
- 3 どちらでもない。
- 4 不満である。
- 5 大変不満である。

設問5) 回答欄

--

設問5) に関するコメントがございましたら、下記にご記入下さい。

--

設問6) その他、現状の活動（開催頻度その他）について、具体的なお意見等ございましたら、ご記入下さい。

設問6) 回答欄

--

II. 今後検討が必要なテーマについて

設問1) ご自身の業務上、もしくは貴社の課題であり、かつ貴社だけでは解決できず、異業種のメンバーによる検討や情報提供が必要だと考えられるテーマ案を下記に例示いたしました。各テーマ案に関して、検討の必要性の有無について、主にあてはまるものを1つずつお選びいただき、○印をつけて下さい。

検討テーマ例	必要性が高い	比較的必要性がある	どちらともいえな い	あまり必要性はない	必要性はない
1. 取引条件の見直しによる環境負荷低減					
2. 効率的なリバースロジスティクス構築 と返品削減					
3. 荷主、元請事業者、実運送事業者の パートナーシップによるCO2削減					
4. CO2算定合理化の検討					
5. 包装・梱包材削減の推進					
6. 共同化推進に向けた検討 (標準化、プラットフォーム構築等)					
7. 省エネ機器等効果の調査 (トラック、物流システム機器等)					
8. ベンチマーキング用データの収集、整備 (CO2排出量、モーダルシフト化率等)					
9. 表彰制度等の構築による環境負荷低減活動の推進					
10. その他 (下記にご記載ください)					

10 その他 を選択された方は、具体的な内容を下記にご記載下さい。

10 その他記載欄 (複数ご回答いただいてもかまいません)

設問2) ロジスティクス環境会議の第3期活動を実施する場合、参加したいと思いますか。現時点で、主にあてはまるものを下記より1つお選び下さい。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 継続して参加したい。 | 2 内容を見て検討したい。 |
| 3 参加しない。 | 4 分からない。 |
| 5 その他 (具体的に: _____) |) |

設問2) 回答欄

Ⅲ. その他、環境会議に関して、ご意見ご要望等ございましたら、下記にご記入下さい。

設問Ⅲ 回答欄

貴社名 ()

ご回答者氏名 ()

ご協力ありがとうございました。

第2期ロジスティクス環境会議
第5回企画運営委員会 議事録

I. 日 時：2007年6月1日（金） 13:00～14:30

II. 場 所：東京・港区 （社）日本ロジスティクスシステム協会 会議室

III. 出席者：23名

IV. 内 容：

- 1) 研究会、委員会の2007年度活動内容について
 - (1) グリーン物流研究会
 - (2) CO2削減推進委員会
 - (3) グリーンサプライチェーン推進委員会
- 2) 環境負荷低減活動推進の手引き（仮称）作成について
- 3) CGLメンバー企業のCO2排出量の収集等について

V. 開 会

事務局の徳田専務理事より開会が宣された後、2007年5月より日本通運の荒木委員の後任として、副委員長に就任された上村副委員長の挨拶がなされた後、杉山委員長の司会のもと、以下のとおり議事が進められた。

VI. 報 告

事務局より、資料1に基づき、第2回本会議についての報告がなされた。

VII. 議 事

1) 研究会、委員会の2007年度活動内容について

(1) グリーン物流研究会

事務局より、資料2に基づき、グリーン物流研究会の活動方針、2006年度活動結果及び2007年度活動内容について説明が行われた後、同研究会の幹事である下村委員より、①環境会議メンバーを中心として多くの方々に御協力いただきながら運営を実施している、②10月以降のテーマについては毎会合後実施しているアンケート結果等を参照しながら決定する、③研究会の活動内容についてはブログで情報発信している旨の説明がなされ、了承された。

(2) CO2削減推進委員会

事務局より、資料2に基づき、CO2削減推進委員会の活動方針、2006年度活動結果及び2007年度活動内容について説明が行われた後、同委員会の委員長である増井副委員長より、①積極的な意見交換を進めるため、2つのWGを設置する、②改正省エネ法については、第1回の定期報告等がなされた後、問題点・改善要望点等の収集を行う旨の説明がなされた。続いて、同委員会の副委員長である高松委員より、WGにおいてメンバーが抱えている課題を議論し、解決の方向性をまとめた旨の説明がなされ、了承された。

(3) グリーンサプライチェーン推進委員会

i) 取引条件分科会

事務局より、資料2に基づき、グリーンサプライチェーン推進委員会の活動方針、及び取引条件分科会の2006年度活動結果及び2007年度活動内容について説明が行われた後、同委員会の委員長である山本委員より、①加工食品をモデルとして、多頻度小口配送削減のための共同配送推進ガイ

ドの検討を進めている、②一般的な共同配送ガイドはすでに多数存在しているが、環境負荷低減を目指す視点からの「エリア共同配送」という今までとは異なる視点での検討を進めている旨の説明がなされた。続いて、同委員会の副委員長である恒吉委員より、①実効性のあるガイドの作成を目指す、②加工食品を取り扱っているメーカー、卸、小売メンバーを中心に議論を進めているが、他業界のメンバーの知見をいかに反映していくかが今後の課題である旨の説明がなされた後、了承された。

ii) 源流管理分科会

事務局より、資料2に基づき、源流管理分科会の2006年度活動結果及び2007年度活動内容について説明が行われ、了承された。

(4) 全体を通して

【主な意見】

委員：第1期の最後に採択した「ロジスティクス環境宣言」の実践に向けて、第2期活動を進めていると理解しているが、①自らの環境負荷を下げる、②取り組む仲間を増やす、③情報発信を行うといった3点の進展度合いについて、事務局として把握しているのか教えていただきたい。またそれらを進めるためのステップも検討すべきではないかと考える。

事務局：定量的な把握は行っていないが、研究会、委員会を運営する中で、①と③については実施に向かっているが、②についてはまだ十分になされていないと考えている。したがって、本日、次の議案でその対応方を御提案させていただきたい。

委員：改正省エネ法の第1回報告書、計画書提出の前に、環境会議からメンバーに対して記載方法等のヘルプ等を行うといった活動も必要ではないか。

委員：行政への提出前に、他社の報告書を見ることができれば、たいへん参考になる。

委員：環境会議全体として行うことは難しいと考える。したがって、行政への報告書提出前ではなく、提出後になってしまうのは仕方がないと思われる。

委員：取組みが遅れている企業に手を差し伸べるという発想の方が重要だと考える。

委員：当社においても、関係会社とノウハウを共有しながら活動を進めており、ご指摘されたような視点は持つべきだと考える。

委員長：本日出された意見を踏まえて、対応できる部分については対応していただきたい。

2) 環境負荷低減活動推進の手引き（仮称）の作成について

事務局より、資料3に基づき、環境負荷低減活動推進の手引き（仮称）の作成について（案）の説明が行われた後、本年4月に作成された「物流現場改善推進のための手引書」の作成に携わられた一ノ瀬委員より、作成にあたって考慮した点等の説明がなされ、以下の意見交換がなされた後、了承された。

【主な意見】

委員：「物流現場改善推進のための手引き」の制作部数について教えていただきたい。

事務局：5,000部制作したが、会員企業から問い合わせが多く、増刷することとなった。

委員：“小規模企業を対象”とあるが、環境会議メンバー企業やその関係会社においても、それぞれの現場は各事業所単位となり小規模であるため、有用なツールになると考える。

委員：“環境”を強く意識させすぎると、敷居が高くなってしまう場合もあると考える。したがって、「作業改善や効率化により環境負荷も低減する」といった考え方の方がよいと考える。

委員：「物流現場改善推進のための手引き」に、環境負荷低減効果の数値を入れるだけでも十分有用なツールになると考える。

委員：実際に中小企業に配布するのであれば、中小企業庁や商工会議所とタイアップするといった仕掛けづくりも検討すべきだと考える。

委員：研究会や委員会において、現在検討を進めている内容についても当該手引きの中に掲載するのか教えていただきたい。

事務局：今回御提案させていただいている手引きに内容に近いものとしては、源流管理で検討しているチェックリストがある。したがって、チェックリストのサマリー的なものを掲載しつつ、第1、2期のアウトプットの内容も盛り込めればと考えている。

委員：「仲間を増やす」ことは賛成であるが、環境会議メンバーを増やすと言った視点での活動も必要だと考える。

3) CGLメンバー企業のCO₂排出量の収集等について

事務局より、資料4に基づき、CGLメンバー企業のCO₂排出量の収集等について（案）の説明が行われた後、了承された。

VIII. その他

1) 行政動向について

(1) 京都議定書目標達成計画の評価・見直しについて

事務局より、資料5、参考資料4-1、4-2に基づき、現在、行政で進められている、京都議定書目標達成計画の評価・見直しについて説明が行われ、以下のような意見交換が行われた後、状況によっては、環境会議として意見書を取りまとめることを検討することが確認された。

【主な意見】

委員：「運輸部門におけるCO₂排出」というと、輸送事業者が悪者にされがちであるが、実態は貨物分野より自家用車にかかわる部分の増加率が大きいことから、それらを区分して、議論すべきだと個人的に考える。

委員：本計画の評価・見直しに関して、環境会議として積極的な取り組みを進めるべきだと考えるが、実施している行政部局とのつながりがあるのか教えていただきたい。

事務局：2月13日の合同会議については、合同会議事務局からの依頼により、北條が出席し、現状の説明を行ったという経緯がある。その結果等もあり、論点整理の中に、商慣行や着荷主の問題が取り上げられたと考えている。ただし、それ以降、実施部局との意見交換等は行ってないことから、今後必要に応じて、事務局として何らかの対応をとる予定である。

(2) 事業活動に伴って排出される一般廃棄物である木くずに係る廃棄物の区分に関する検討結果報告（案）について

事務局より、資料6、参考資料5に基づき、現在、環境省で進められている、事業活動に伴って排出される一般廃棄物である木くずに係る廃棄物の区分に関する検討結果報告（案）について説明が行われ、以下のような意見交換が行われた。

【主な意見】

委員長：資料6に「少なくない量」とあるが、数値としてどのぐらいの量なのか教えていただきたい。

事務局：「約88万トン強程度」と記載されている。

委員：物流事業者としてはありがたい内容だと考える。ただし、第1期リバースロジスティクス調査委員会では「排出事業者によって、産業廃棄物と一般廃棄物を選択できるようにしてほしい」という提言であったが、それについては、処理責任があいまいになるということで認められなかった。

IX. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、杉山委員長は閉会を宣した。

以上